

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）
	児童	心身の発達に応じた教育を受ける。
	就学予定者（来入児）	就学相談等により、適正な就学に備える。
現状・課題	教育振興に係る備品、消耗品の整備や就学相談等を行っている。	
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	教育基本法、学校教育法
事務事業概要	教育振興に係る備品、消耗品の整備や就学相談等を行っている。	
令和３年度の活動指標 アウトプット	活動内容	活動量
	教育振興に係る備品、消耗品の整備	７校
	学校人権教育の実施	７校
	教育支援員の配置	７校

事業コスト	項 目		単位	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
	予算額	当初予算	円	94,161,000	153,117,000	111,902,000
		補正・流用等	円	-6,320,000	206,000	－
		合計	円	87,841,000	153,323,000	111,902,000
	決算（見込）額 A		円	81,319,078	153,323,000	－
	財源内訳	国庫支出金	円	2,440,000	5,124,000	2,781,000
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	100,000	100,000	1,200,000
	R2は予算額	一般財源	円	78,779,078	148,099,000	107,921,000
	正規職員数		人	0.23	0.48	0.50
	人件費 B		円	1,481,660	3,105,600	4,413,000
総事業費 A＋B		円	82,800,738	156,428,600	116,315,000	
市民 1 人当たりコスト		円	1,946	3,690	2,761	

令和3年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	減らす	コスト	下げる	成果	維持する
	児童の心身の発達に応じた教育を行う。						

